

# ロケットイン症候群 (LIS) の人び とのセクシュアリティ

アナ・サンタンヘロ・ラザロ

[ana.santangelo@urv.cat](mailto:ana.santangelo@urv.cat)

ロヴィラ・イ・ヴィルジリ大学



ESCOLA DE POSTGRAU  
i DOCTORAT  
Universitat Rovira i Virgili

# 何を、どのように

LISの人びとのセクシュアリティの次元とその背景を分析する。

## - 方法論

- 詳細なインタビュー
- 観察
- 質問票調査
- 一人称の語りのレビュー



# マリアとマリオ

異性カップル

結婚25年目

33歳でLISになる

ほぼ完全なLIS状態

首の動き、顔の表情、人差し指と親指の動き

コンピュータを介したコミュニケーション

まばたきを使ったコミュニケーション

マリオは介護施設に住んでいる

マリアは二人の家に住んでいる

# 場所

「9ヶ月の入院の後、彼は家に戻り、そのときから私たちは二人きりでいられる性的な時間を持つようになりました.....彼がケアホームに入らなければならなくなったとき、私たちは一緒にいることができなくなったので、その頻度はどんどん減っていき、今ではほとんどありません」(マリア、アンケート)。

「彼は施設に住んでいて、一度試したことがあるのですが、隣の部屋の住人は部屋から出て行こうとしないし、あちこちの部屋から物音が聞こえてきて、とても居心地が悪かったし、私たちのどちらにとってもやりがいのあるものではなかったのです(マリア、アンケート)。

「うまくいきません。すべての音が聞こえるのです。」(マリオ、インタビュー)。

「結婚というかたち以上に、今私たちにあるのは、私が彼女に全面的に依存している、というこの関係です」(Carballo, 2005, p. 72)。

# 疲れとできないこと

## 年齢

「私たちのセックスは、年齢と、セックスをするための親密さが失われてきたという、この2つの非常に重要な問題のために変化しました(.....)例えば私たちは旅行をするときには、一緒にいても、一日の終わりにはとても疲れていて、しようとも思いませんし、年齢が影響しているように思います。(マリア、アンケート)

### 身体的な側面

動けなくなった、がんばりがきかなくなった

依存とプライバシー

「どのような感じか見られたでしょう。私が自分でやらなければならないのです」(マリア)。

# 受動性－能動性

「一方、性交渉もかなり散発的で(「専門医」は、性交渉は不可能であると言いますし)、私はいつも、性交渉に積極的に参加できないことに一種のフラストレーションを感じてきました」(Carballo, 2005, p.130)。

「動けないことで、私は自分のセクシュアリティを過小評価しています」(マリオ、インタビュー)。

「彼は勃起に問題はなかったのですが、射精することができませんでした。(…)彼が初めて射精に成功したときの幸せそうな顔は、彼が肩の荷を下ろせたように見えた気がして忘れられません。(…)男は射精をしなければならないものだと、彼が言っていましたから」(マリア、インタビュー)。

「身体的なパフォーマンスによって構成される男らしさは、例えば身体的障害の結果パフォーマンスが維持できなくなったときに、ジェンダーを脆弱なものにします」(Connell, 2003, p.86)。

「従来のパターンでは、男性的な社会化は、強さとパワーを特徴とする身体的状態が必要とされます。なので、男性性は、女性性と同様に、能力、すなわち、男性性をもたらす特定の態度や実践を規範的に行うことのできる身体を必要とします」(Santesmases, 2023, p.39)。

# 事例研究からの暫定的な結論

性的な欲求について話したり相談したりすることの難しさ。

医療専門家からの情報不足。

性器中心的、性交中心的な考え方。

思いつきでは実行できない(自発的でいられない)。

ご清聴ありがとうございました  
：)